

参加を迷われている方の疑問にお答えする 福岡県ノーリフティングケア 普及促進事業 Q&A



※詳しい事業内容・応募方法は「募集要項」をご覧ください。

Q ノーリフティングケア普及促進事業に参加するメリットは何ですか？

A 職員とコミュニケーションをとりながら、利用者へのケアや職場環境を見直すことで、安全な職場づくり、腰痛の減少、利用者への負担軽減を図ることができます。（詳しくは「先輩施設の声」をご覧ください。）また、ノーリフティングケアは、職員と利用者の距離を保てるため、感染症対策にもなると考えられています。

Q 研修の参加者は誰ですか？

A マネジメント研修は委員会メンバー（5名を想定）、フォローアップ研修は教育担当者が対象です。他のモデル施設や、前年度以前のモデル施設も参加するため、情報共有の場にもなりますし、地域・施設間の繋がりを作ることができます。

Q 福祉用具やリフトが無いと参加できませんか？

A ノーリフティングとは、現場から腰痛など身体に負担となるケアを見直して安全に働ける環境を作る取り組みになります。よって利用者の皆さんが「軽度だから関係ない」や「福祉用具（リフト）がないから取り組めない」という事ではなく、組織全体で労働安全衛生について取り組むことです。研修会がスタートしてから、スライディングシートやスライディングボード、グローブなどを取り入れていくことでも十分に取組みます。

Q 費用負担はありますか？

A モデル施設としての参加、研修受講に費用負担は発生しません。但し、会場までの交通費はご負担ください。また、福祉用具購入の助成は行っておりませんのでご注意ください。

Q モデル施設になったら何をしますか？

A マネジメント研修（年5回・オンライン形式）及びフォローアップ研修（年3回・集合形式）を受講します。また、施設内における腰痛予防の組織（委員会）づくり、職員へのアセスメントの実施、リスク低減策の検討を行い、年度末に、県内の介護サービス事業者に対し、取組の成果を報告します。

Q 研修は何をしますか？

A マネジメント研修は職員の健康管理、利用者のアセスメント、施設環境、介護技術教育、リスクマネジメントなどの視点から課題を抽出して解決策を検討後に実施して解決できたかの評価をします。これら課題解決を具体的に計画作成と実行、見直しを繰り返します。また、実技研修や個別指導のためのフォローアップ研修も行います。

Q 研修受講時は何を準備すればいいですか？

A モデル施設選定後、テキストやDVDなどの教材を郵送いたしますので、持参されて臨まれてください。環境としては、インターネット接続したパソコン、会議ができるお部屋かスペースの確保が必要です。研修会開催後、福祉用具としては、最初はグローブ数組、スライディングボード2枚とスライディングシート2枚程度あれば実技研修も行いやすくなります。

Q モデル施設の役割は何ですか？

A モデル施設には、研修を受講・施設内での実践を経て、最終的には取組の成果を報告していただきます。また、次年度、指導者養成研修を受講していただくとともに、地域のリーダーとして、ノーリフティングケアを普及する役割を担っていただきます。